

- 大きくなったね。今年も「あんなこと、こんなことあったでしょう」。
- 当園の子どもたちは“体全体を使って遊ぶ”のびのびあそびの愉しさを日々体感しながら育っています。成長は「身体測定などの数値」の変化だけでなく「心の奥行き」も広がっていますよ。誰よりも本人自身がその手ごたえを感じているはずです。
- 音楽参観、いかがでしたか？年長組を少し覗いてみました。プログラムの終わりの歌「ありがとう」をうたいながら、親御さんだけでなく、子どもたちも涙ぐんでいました。私ももらい泣きです。心熱く、温かい涙でした。感動でした。
- 巣立ちの季節。お別れの月です。少し寂しいですね。でもお別れがないと新しく始めることができません。お別れは次への備えをするとき、始まりの時でもあります。
- それでもこれから新しく旅立つのに、子どもたちはそれなりに緊張していたり、不安を感じたりしているかもしれません。
- 「大丈夫かしら」子どもたちだけでなく、私どもの人生の行く手には、常に困りごとが隣り合わせ、心配したらきりがありません。

とりあえず「きっと大丈夫」「あの子はあの子なりに一生懸命なのだから」、子供の「前に向かう生命力」を信じて背中を押してあげましょう。
- 子どもたち1人ひとり、明日に向かって生きようとする意欲と活力を内側に秘めています。
ただし、なんといってもまだ6才です。これからも大人の支えがなければ、先にはいきません。どうぞ、これまでのように抱っこをしたり・・・などのスキンシップをして、経験不足で分からないところは親切にかかわってあげましょう。
- この一年間、保護者会会長高橋様をはじめ、皆様方の温かいお力添えとご協力を感謝しています。ありがとうございました。

.....

恐れてはならない。おののいてはならない。
あなたがどこへ行っても、主が共におられる。